



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

令和6年度 キャリアアップ研修

専門職のための講座

保育実践で出会う「気になる」 子どもの理解と支援

【保育者のためのキャリアアップセミナー（子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所）】

保育現場で出会う「気になる」子どもとその保護者の支援

家庭福祉課題を抱えた子どものために
発達の気になる子どものために



開催日時
令和6年

8月19日

月

9:40~
17:00

申込期間

6月17日(月)~7月12日(金)
9:00 17:00

場所：山口県立大学 北キャンパス2号館4階 B401教室
対象：保育士、幼稚園教諭、保育教諭等

研修について

幼児期の子ども家庭支援を担う保育者が、保育現場で出会う「気になる」子どもとその保護者の支援について学ぶ講座です。講座では、家庭福祉課題を抱えた子どもと発達の気になる子どもの理解に焦点を当てながら、子どもや家族の支援に必要な知識と技術について学び、専門職としてのスキルアップを図ります。

講義後のグループワークでは、参加者同士で学びのふりかえりや保育実践の共有を行い、最後に質問の時間を設けます。

対象:保育士、幼稚園教諭、保育教諭等

受講料:5,000円

※当日受付時にお支払いください。

定員:150名

※先着順、定員になり次第締め切ります。

昼食:各自でご用意ください。

※会場付近に昼食を購入できるお店等はありません。

会場:山口県立大学北キャンパス2号館4階
B401教室

その他:教室内は寒暖差があります。

衣類で調整できるようにしてください。

日程:令和6年8月19日(月)9:40~17:00

プログラム

時間	内容	講師
受付 9:00~		
9:40~ 10:40	【講義1】 「気になる」子どもの理解と支援のための ソーシャルワーク	山口県立大学 社会福祉学部 准教授 横山 順一 (子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所 研究主任)
10:50~ 11:50	【講義2】 「気になる」子どもの心理と親子関係	山口県立大学 社会福祉学部 准教授 大石 由起子 (子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所 研究員)
昼休憩 11:50~12:40		
12:40~ 13:40	【講義3】 発達の「気になる」子どもの理解と支援	山口県立大学 社会福祉学部 准教授 永瀬 開 (子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所 研究員)
13:50~ 14:50	【講義4】 家族及び関係機関との連携による 「気になる」子どもの理解	山口県立大学 社会福祉学部 教授 藤田 久美 (子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所 所長)
15:00~ 17:00	学びの総括 グループワーク、まとめ・質疑応答	山口県立大学 社会福祉学部附属 子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所 特任助教(研究員) 小田 真実 ならびに講師全員

申し込みについて

申込期間: 令和6年6月17日(月) 9:00 ~ 7月12日(金) 17:00

①申し込み

山口県立大学ウェブサイトの申し込みフォームをご利用ください。

URL: https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/form/index.php?event_id=202

※定員になり次第締め切ります(先着順)。

QRコードから
申し込みフォームに
アクセスできます



※申し込み時にご登録いただいたメールアドレスに自動返信メールを送りますので、必ずご確認ください。

メールが届かない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

※申し込みフォームに記載された個人情報について、本講座に関する連絡等の目的以外には使用しません。

②受講決定通知

受講決定者には、申込期間終了後、受講票を送付します。

研修日の3日前までに受講票が届かない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

③受講当日

受講票をご持参のうえ、研修会場までお越しください。受付にて受講料の5,000円をお支払いください。

担当講師からのメッセージ



山口県立大学 社会福祉学部
教授 藤田 久美

家族と「子どもの理解」を共有していく際の大切なポイントや児童発達支援センター等の多職種との連携についていっしょに学びましょう。



山口県立大学 社会福祉学部
准教授 横山 順一

子ども家庭福祉課題を抱えた子どもとその親の理解と支援について、ソーシャルワーク視点からみなさんといっしょに考えましょう。



山口県立大学 社会福祉学部
准教授 大石 由起子

子どもの言動が「気になる」時、色々な可能性を考えることができるように、みなさんといっしょに視野をひろげていきましょう。



山口県立大学 社会福祉学部
准教授 永瀬 開

幼児期は発達の個人差が非常に大きい時期として知られています。幼児期における「気になる」発達上の課題について、いっしょに考えていきましょう。



